

No.100

# 会 報

2002 (平成14) 年9月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会

事務局 〒416-0952 建設コンサルタントセンター内 (TEL 0545-64-6665 FAX 0545-64-3690)

会 長:守屋 文二 専務理事: 吉澤 淳

編集担当者:森 稔夫 山之上 誠 高尾和宏

振込口座:静岡銀行清水中央支店普通0718595 静岡県技術士協会会計藤田協右(0543-64-1148)

## 〔2002 年度・第1 回例会開催〕

2002 年度・第1 回例会は去る7 月6 日、東部役員のご尽力により、3 会員のご協力を得て三島市で開催されました。

### 〔例会概要〕

1. 日 時:平成14 年7 月6 日

13:30 ~ 16:30

2. 場 所:三島市市民文化会館

3F 会議室

3. 内 容

1) 第1 講「電子写真と環境関連技術」

会員 三枝 久芳(電気・電子部門)

2) 第2 講「富士山ハザードマップ

中間報告について」

会員 大井 寿彦(応用理学部門)

3) 第3 講「下水道施設のコンクリート

腐食と大規模修繕例」

会員 斎 強志(水道部門)

4. 出席者 22 名

5. 懇親会:沼津市大手町「ゆうが」

6. 特記事項:今回から出席者に「技術士継続教育(CPD)参加証明書」を交付しました。

(参照:P3)

## 〔発表概要〕

第1 講「電子写真と環境関連技術」

技術士(総合技術管理部門、

電気・電子部門—電気応用)

三枝 久芳(東芝テック株式会社)



電子写真は複写機・レーザービームプリンタの印字装置として実用化されており、我々の生活には欠かすことのできない技術である。

一般に電子写真プロセスは余り知られていないため、最初に電子写真プロセスの紹介及び解説を行い、続いて環境関連技術の解説を懇切丁寧に行われた。

## 第2 講「富士山ハザードマップ 中間報告について」

技術士(応用理学部門)

大井 寿彦((株)東日)

平成14年6月14日、内閣府「富士山ハザー



ドマップ検討委員会」が中間報告1 / 4 程度の進捗を  
発表した。

周辺住民、自治体には大変ショッキングかつ興  
味のある内容であった。

この中間報告を次の項目で懇切丁寧に解説を  
行われた。

1. 噴火史(これまでの研究成果)
2. 現地調査検討結果  
(今回のワーキング成果)
3. 今後の噴火モデル
4. 熔岩流ハザードマップ
5. その他のハザードマップ

## 第3 講 「下水道施設のコンクリート腐食と 大規模修繕例」

技術士(水道部門)

齋 強志(株)東海建設コンサルタント)



下水道施設は他の公共施設に比べて過酷な条件下に  
あり、当初の計画設計時には予想もしな  
かった事態や、最近の硫化水素による施設の腐  
食、劣化により、施設の耐久性が著しく損なわれている  
事例も目につくようになってきている。

この硫化水素による施設の腐食、劣化は古く  
から知られてはいたが、硫化物を多量に含む特  
殊排水(製紙工場、皮革排水、温泉排水、水産  
加工排水)、高濃度排水(畜産排水、食品工場排水、し  
尿)、ビルピット排水(ホテル、ビル、空  
港、操車場)といった特別な下水がその原因で  
あると考えられてきた。

しかし、最近発生している下水道施設のコン  
クリートの腐食、劣化やそれに起因する事故の  
場合には、特殊な排水の流入がなくても発生し  
ている事例がみられるようになってきた。

下水道施設における、コンクリートの腐食、劣化についての調査、研究は、最近、数多く報告されており、硫化物の生成要因とメカニズム及び硫化水素による腐食、劣化のメカニズム等

についても明らかにされてきている。これまでの知見及び大規模修繕した事例を懇切丁寧に説明された。

- 「技術士継続教育 (CPD) 参加証明書」 -

平成 14 年 7 月 6 日  
(社) 日本技術士会 中部支部  
静岡県技術士協会  
会長 守屋 文二



「技術士継続教育 (CPD) 参加証明書」

あなたは、下記の(社)日本技術士会中部支部静岡県技術士協会主催の2002 年度東部例会に参加し、3 時間の技術士継続教育を行ったことを証明致します。

記

1. 日 時:平成14 年7 月6 日(土)13:30 より16:30
2. 場 所:三島市市民文化会館3F 会議室
3. 内 容:1) 第1 講「電子写真と環境関連技術」  
会員 三枝 久芳(電気・電子部門)  
2) 第2 講「富士山ハザードマップ中間報告について」  
会員 大井 寿彦(応用理学部門)
- 3) 第3 項「下水道施設のコンクリート腐食と大規模修繕例」  
会員 斎 強志(水道部門)
4. 出席者:別紙

技術士継続教育 (CPD) について

1. 「CPD」の実施に当たって

(1) 「CPD」とは

CPD は、技術士個人の専門家としての「その業務に関して有する知識及び技術の水準を向上させ、その他その資質の向上」に資するものである必要があります。従って自らにとって何がCPD になるかは、個人の現在の能力レベルや置かれて

いる立場によって異なります。

また、技術士が日頃従事している業務や教員の日常講義等それ自体は、CPD とはいえませんが、業務遂行上実施した「専門家としての能力の向上」に資する調査研究活動等の部分はCPD 活動であると考えます。

---

## (2) 自主的な選択による実施

技術士には、自己研鑽の目的に最も適したものを自主的に選択して実行することが求められています。

何を実施すべきかは個人のニーズにより異なるため、原則として、日本技術士会(以下、会と言う)としてはプログラムを認定することは考えておりません。CPD が実施される場所や形態も組織内や外部団体の講習の他、自宅での学習など多様であり、「認定」になじまないと考えています。

また、後述のとおりCPD 実績についての説明が求められることがあることから、できる限り第三者から見てもCPD 実績として認められ得るものが望まれます。

## (3) 課題・実施形態においてバランスの取れた実施

実施に当たっては、課題のみならず実施形態に於いても特定なものに偏らないようなバランスの取れた実施が望まれます。

## (4) 計画的な実施

個人の現在の能力レベルや置かれている立場・業務を踏まえて、専門家としての能力向上に向けた明確な目標を定め、計画的に実施されることが望まれます。

## (5) 実施単位(CPD 単位時間)及び目標時間

CPD 単位時間は、CPD に実質的に費やした時間に対し、実施難度や効果を勘案した「時間重み係数」を乗

じて換算した時間です。このCPD単位時間を評価します。

目標として年50 時間、3 年間に150 時間(APEC エンジニアは更新期間の5 年間に250 時間)のCPD の実施が望まれます。

## (6) 時間重み係数

(Weight Factor = CPDWF)

これは、講習会の場合でも単に受講するよりも発表や講師を努める方が同じ1 時間でもCPD としての効果は高いと考えられます。

従って、CPD 効果の高い活動に重みをつけて評価するものです。

自分自身でCPD 効果を評価して、時間重み係数を設定することも可能です。但し、第三者から見て妥当と認められ得るものが望まれます。

## (7) CPD の記録(実施についての説明責任)及び申告・登録

技術士は、CPD 実施の証左としてその都度実績を記録簿に記録すると共に、実施を証することができる関連書類(受講証や発表資料等、その形式は各人の判断に委ねます)などを普段から整理し保管しておく必要があります。

また実施記録については年一回、翌年度の4 月から誕生日まで登録することが望まれます。会における「技術士CPD 登録」についてはCPD 登録簿/記録簿(添付)に記録し、FAX、e-mail、郵送等にて会のCPD 登録部へ申告・登録願います。

## (8) 実施状況調査(透明性と説明性の確保)

会はCPD の実施状況を確認するために実施

者に対して、記録簿及び実施状況を証明できる  
関連書類等の調査を行うことがあります。

(APEC エンジニアの方には、別途CPD 実施状  
況の監査があります)

(9)CPD 実施状況の開示

会では、CPD の実施状況等を公表することも  
検討していきたいと考えております。

(10)CPD 活動の場(提供機関)

会では、引続き今後も技術士の方のCPD とな  
る場を更に多く提供して行きたいと考えており  
ますが、全国におられる全ての技術士の方に対  
しては限界もあります。専門的分野においては  
学協会の活動を積極的に活用されることをお奨  
め致します。

(抜粋:日本技術士会ガイドブック平成13年  
版)

## 一口メモ

- 技術士継続教育(CPD)について -  
技術士法改正(平成12年法律第48号)により  
「技術士CPD(Continuing Professional

Development)」は、「技術士の責務である」と、  
謳われています。本会も「例会を技術士CPD」  
に位置付けています

## - 社団法人 日本技術士会 中部支部からのお知らせ -

第29回 技術士全国大会について  
開催期間:平成14年9月24日(火)~  
平成14年9月27日(金)  
大会当日:平成14年9月25日(水)  
大会会場:長良川国際会議場  
岐阜市長良福光2695-2  
25日料金:10,000円  
記念パーティ:5,000円  
(希望者)

全国大会シンポジウム:  
「理想の技術者像を追い求めて」  
記念講演:「自然環境と健康への誘い」  
講師:岐阜薬科大学学長 葛谷昌之氏  
お問合せ・申込先:  
「第29回技術士全国大会」係  
(岐阜商工会議所2F・岐阜市神田町2-2)  
TEL:058-264-1286(月-金)9:15 - 18:00  
FAX:058-264-1275(24時間)

## - 会員の著作 ご案内 -



前会長の松本文雄名誉会員が、永年の風車についての研究成果をまとめられ  
れ発  
刊されました。

タイトルは「風・風車のQ & A 120」、発行・パワー社、です。風力エネルギー  
について知識を得たい人の格好の入門書です。

## 2.CPD の課題とその区分

区分	課題項目	内容
A 一 般 共 通 課 題	1. 倫理	倫理規定、技術倫理(技術の人類社会に与える長期的・短期的影響の評価を含む技術士に課せられた公益確保の責務等) 地球環境、環境アセスメント、環境課題の解決方法等安全
	2. 環境	基準、防災基準、危機管理、化学物質の毒性、製造物責任法(PL法)等
	3. 安全	新技術、品質保証、情報技術、規格・仕様等
	4. 技術動向	国内、海外動向(国際貿易動向、GATT / WTO、ODA 等)
	5. 社会動向	商務協定並びに技術に対するニーズ動向等
	6. 産業経済動向	内外の産業経済動向、労働市場動向等
	7. 規格・基準の動向	ISO、IEC 等
	8. マネジメント手法	工程管理、コスト管理、資源管理、維持管理、品質管理、リスク管理等
	9. 契約	役務契約、国際的な契約形態等
	10. 国際交流	外国語によるプレゼンテーション・コミュニケーション
	11. その他	国際社会の理解、各国の文化及び歴史、教養(科学技術史など)、一般社会との関わり等
B 技 術 課 題	1. 専門分野の最新技術	専門とする技術、周辺技術等
	2. 科学技術動向	専門分野、科学技術政策、海外の科学技術動向等
	3. 関係法令	業務に関連ある法令(特に改定時点)
	4. 事故事例	同様な事故を再び繰り返さないための事例研究ならびに事故解析等
	5. その他	

### - 「安全衛生」研究会から -

当研究会は会見有志からなり平成14年度で4回目の研究会を開催する事が出来ました。今年度は活動を活発化するため焼津水産加工センターへの見学会も実施しました。その結果、異業種の会員による研究会報告書は相手先にも非常に感謝されています。

今後とも異業種会員の意見交換を重要視し、テーマとして新鮮な話題に取り組む姿勢を継続し、ひいては技術上の視点からビジネスへ視野を広げていきたいと考えています。会員各位のご指導ご支援をお願いいたします。

---

- 会員の消息 -

新規入会の方々を紹介します(敬称:省略) 新規入会  
氏名  
生年月日

技術部門(登録番号)  
最終学歴  
勤務先  
TEL . FAX



市川 武(いちかわ たけし)

建設部門(46745)

(株)滝口測量設計



五味 道隆(ごみ みちたか)

電気・電子部門(47857)

電設エンジニアリング(株)

TEL.052-533-2387 FAX.052-533-2388



松本 亨(まつもと とおる)

建設部門(45507)

清水市役所

TEL.0543-54-2018 FAX.0543-54-1900



鈴木 誠(すずき まこと)

建設部門(49223)

静岡県浜松土木事務所

TEL.053-458-7264 FAX.053-458-7193

## - 会費の納入のお願い -

2002 年度から会計担当常任理事が変更しました。

「会費の納入」は下記へお願い申し上げます。  
年会費8,000 円です。名誉会員の方々には  
4,000 円のご協力をお願いしています。

振込口座：静岡銀行 清水中央支店  
普通 0718595

静岡県技術士協会 常任理事(会計担当)  
藤田協右(0543-64-1148)

## - 連絡事項 -

1. 技術士継続教育(CPD)への取組の一つとして、今年度の例会を「東部例会」、「中部例会」、「西部例会」とし、各例会毎、出席者に参加証明書を発行する予定です。

この証明書により、点数がカウントされ、一定の点数に達すれば、技術士継続教育(CPD)と認定されます(必要時間:1 年間50 時間、3 年間150 時間)

2. 2002 年度 第2 回例会

1) 日時10 月11 日(金)

2) 内容「省エネとクリーン化エネルギー」静岡ガス(株)の天然ガスパイプライン構想を伺い、第2 駿河幹線パイプライン建設工事の現地見学を行う。

3. 2002 年度 第3 回例会

1) 日時12 月6 日(金)

於・クーポール会館

2) 内容「研修会と懇親忘年会」東部、中部、西部地区の本会会員より各1 名が講師としてそれぞれ得意分野よりテーマを選びレクチャーを行い、討論の花を咲かせる。

4. 「西部例会」は15 年2 月下旬頃を予定にしています。

5. 技術士継続教育(CPD)の概要(一部)を紹介しました。次回には「時間重み係数」を紹介する予定です

6. その他

会員の中で住所等、変更のある方は、専務理事・吉澤 淳宛お知らせ下さい。

(FAX 054-247-3123)

会の運営、会報へのご意見、投稿等をお待ちしております。

## - 編集後記 -

今号は「東部例会」のお三方の講演要旨と新しく入会された方々の紹介に加え、技術士継続教育(CPD)の概要(一部)を掲載しました。お気付きの点、ご意見を頂戴できれば幸いです。(文責 - 編集子)

## 静岡県技術士協会内部連絡先のご案内

2002 年、2003 年度の役員は中部が担当することになりました。

事務局は、建設コンサルタントセンター様のご厚意により、従来通り同社内とさせていただきます。

協会内部の連絡は下記の役員(会長、副会長、専務、常任理事)にして下さるようお願い致します。

役名氏名	連絡先	電話	F A X	E - M a i l
会長 守屋文二	守屋技術士事務所	054-281-4078	054-281-4078	
副会長 木村芳正	(株)建設コンサルタントセンター	0545-64-6665	0545-64-3690	yo-kimura@kencon.jp
副会長 神立 信	神立技術士事務所	053-436-3496	053-438-8170	kandatsu@pop16.odn.ne.jp
専務理事 吉澤 淳	東洋コーティング(株)	054-246-6804	054-247-3123	atsu-yosizawa@toyocoating.co.jp
常任理事 藤田協右	清水建設(株)	0543-64-1148	0543-64-1148	
常任理事 森稔夫	森技術士事務所	0547-37-2389	0547-37-2389	
常任理事 山之上誠	住友建設(株)	054-246-6881	054-246-6881	yamanoue@ka.tnc.ne.jp
常任理事 高尾和宏	技研測量	054-237-5871	054-238-7531	